

いろいろな木材に被害を与える ナガシクイムシなど

東京の
生活害虫

9



●チビタケナガシクイ成虫

●被害を受けた籐材



●オオナガシクイ成虫(体長10mm)



●オオナガシクイの被害(ゴムノキ)



●オオナガシバンムシ成虫(体長5~7mm)

家具や家屋に被害を与える虫には、たくさんの種類があります。最近増えている例を紹介しましょう。

チビタケナガシクイ

円筒形をした小さな甲虫です。成虫の体長は3mm前後、こげ茶色をしています。昔から竹材の害虫として有名でしたが、最近^は籐の被害が増えています。幼虫が内部に被害を与え、成虫が小さな穴をあけて出てきます。

オオナガシクイ

円筒形をした棒のような甲虫です。成虫の体長は10mm前後で、黒褐色をしています。最近、輸入材(主に家具)の被害が増えており、幼虫が直径5mm前後の大きな穴をあけます。

オオナガシバンムシ

細長い甲虫です。成虫の体長は5~7mm、赤褐色をしています。関東地方では増えているようで、室内で発見されます。被害の実態はよくわかっていませんが、他県では体育館の床板で大発生した例があります。

防除

被害を受けてはじめて気付くため、あまりよい防除法がありません。籐製の小さな細工物などは、冷凍庫で冷凍すると内部の虫が駆除できます。